

急速に発展する町を犯罪から守る青パト活動 ～山形市防犯協会金井支部～

金井地区は、山形市の北部に位置する人口約1万6,000人（約5,600世帯）の活力ある明るい町です。特に嶋地区は、近年、嶋土地区画整理事業により広大な農地が住宅地と商業地を開発され、現在では600戸を超える住宅と様々な商業店舗が建ち並ぶ商業の一大拠点に様変わりし、連日大変な賑わいを見せています。

一方、金井地区を含む北部交番管内の昨年の刑法犯認知件数は329件で、市内交番の中ではワーストワン。地区の発展に伴う治安の悪化が憂慮されています。このような中、本年4月に待望の嶋交番が開設され、先日、地元の住民・団体が参加して開所式が執り行われたところであり、警察官の存在を大変心強く感じているところです。

さて、当防犯協会では、昨年5月に「金井青パト隊」を結成して、14台の青パトで活動をスタートしました。小学生の登下校時の安全サポートや商業地における犯罪を抑止するため、昼夜パトロールを行っています。また、当会独自の活動の特色のひとつに、移動交番によるパトロールがあります。嶋地区で大型商業店舗がオープンして以来、管轄交番と協働して毎月定期的に実施しているもので、青パトによる周辺パトロールを行った後、各商業店舗内をくまなく巡回し、最後に駐車場の車両の防犯診断を行うという約1時間のパトロールです。



青パトは、防犯意識の共有・高揚、犯罪抑止のための手段



また、広報活動の一環として、小学校のグラウンドで定期的に青パトの出発式を実施しています。

昨年5月には、金井小学校の全校生徒750名、教職員、そして山形警察署の方々にもご参加をいただき、小学校の協力を得ながら盛大に執り行いました。今年も新しい1年生が加わって先日実施をしたところです。

犯罪の無い地域社会を実現するためには、地域に住む私たち皆が、防犯に対する意識の高揚と啓蒙活動を通してその輪を広げていくことが大切だと思っています。このように、防犯意識の共有と高揚、そして犯罪抑止のための手段が青パト活動ではないでしょうか。金井地区の防犯に熱意のある46名の防犯連絡員一同、地域を犯罪から守るために心を一つにして、これからも頑張っていきたいと思っています。

（文～山形市防犯協会金井支部長 原田彰）

【編集後記】今年も暑い夏がやってきます。暑い中で活動する際は、水分・塩分を十分に補給して、体調管理には十分注意してください。「明るいやまがた夏の安全県民運動」が7月18日から県内各地でスタートします。夏休み期間中の事件・事故防止に向けて、定期的なパトロールをお願いします。

【山形県内の青パト情勢】
（平成25年6月末現在）
団体数：85団体3,244名
青パト台数：1,066台